

512) 交差点

その日はちょっと大きなお金を持っていた。柄にもなく株などというものを買って、その支払いに証券会社の窓口に向かっていたのである。交差点で信号が変わるのを待っていると、目つきのあまり良くない東洋人風の男が、我輩のほうに2～3歩近づいてきた。我輩はちょっとヤバイぞと思って一瞬身構えたが、アラブ系と黒人系をプラスしたような顔つきで、テロリストの雰囲気がある。それがこちらに寄って来るのである。日本人のようでもあるが、色が浅黒くて、目つきがやたらと鋭い。来ないで、恐いからこっちに来ないで！オレ大金持ってんだから、こっちに来ないで！我輩は夢中で心の中で叫んだが、もうほとんど50センチの距離しかない。我輩は覚悟を決めて、我輩にとっては大金の入った鞆をしっかりと持ち直した。すると男は小声で、しかもきちんとした日本語で我輩に言ったのである。

「チャック開いてますよ。」

ドキッ！それにしても良かった。我輩は急に気分が楽になって、

「アッ、すみません。ありがとうございます。」

と答えたのだが、うっすらと手には汗をかいていたのである。それにしてもまたやっちゃった。こうやって我輩もだんだんボケ老人になるんだろうな～。